

## 八戸市新美術館管理運営基本計画(案)に関するパブリックコメント実施状況

No.	意見内容（概要）	市の考え方
1	<p>◆計画全体について</p> <p>各論はいろいろ意見がありますが、総論で申しますと、管理運営事業計画案としては全てのジャンルに渡って詳細に明記しており、抜け目のないような企画案と思います。一言申しますと、可もなく不可もなく、また、あえて言えば個性もなく、無難な落ち度のない計画案と思います。新美術館として人々を惹きつける魅力ある美術館。何か柱になる目玉（目玉とは決して有名な絵画等ではない）がないだろうか。八戸らしさとか。全国・世界中を巻き込んだ社会現象となりえる企画です。八戸も中核中枢都市に指定され、国からの交付金が受けやすくなりました。今一度、目的と手段をしっかりと確認して、美術館を中心とした街づくりを進めて行こうではありませんか。</p>	<p>展示・調査研究・収集保存という「美術館」が担う基本的な役割に、人々が互いに刺激し合いながら感性を高め、育まれていくという“共育”を担う「アート学び」と、観光や福祉、地域コミュニティなど様々な分野を横断した総合的な文化政策を担う「アートのまちづくり」を加えた、3つの役割を融合させた美術館として整備することにより、全国へと発信できる八戸固有の活動を生み出すことを目標としています。「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館」というビジョンを実現できるよう、市民や地域の皆様と共に事業を展開して参ります。</p>
2	<p>◆1章及び2章について</p> <p>計画にあるとおり、美術館を町の文化の拠点基地となるよう水をやり、肥料をやり、支柱を立て、雑草を取り、愛情を持って慎重に育ててもらいたい。プランにある美術文化の薫りが街中に拡がるように期待します。</p>	<p>「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館」というビジョンを実現できるよう、市民や地域の皆様と共に事業を展開して参ります。</p>
3	<p>◆主要美術分野について</p> <p>企画ジャンルについて、例えば現代美術なのか、オーソドックスにいくのか。</p>	<p>新美術館で扱う主要美術分野は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域ゆかりの近・現代の美術</li> <li>②地域の文化芸術に関連した、あるいは比較対象となる国内外の美術</li> <li>③時代を反映した多種多様な作品形態が存在する現代美術</li> </ol> <p>を扱うこととしておりますが、実験的・挑戦的な精神を持つことを前提とし、これらに沿う形で事業を展開して参ります。</p>
4	<p>◆3章について</p> <p>よくもこのような細かな事業計画を作ったものだと感じました。基本事業からパイロット事業まで事細かに打ち立てられており、この通りに事業が進められるよう期待します。</p>	<p>計画の実現に向けて、市民や地域の皆様と共に進めて参ります。</p>
5	<p>◆共創パートナーについて</p> <p>「市民とともに作りあげる」という、とても希望が膨らむ素晴らしい管理運営基本計画案だと感じました。2021年夏の開館予定から逆算しますと、P21の組織機構図の共創パートナー間が一体感を持って新美術館運営に貢献出来る空気感創出のため、何らかの協議会、連携連絡会のような「会」の早期創設が望まれると思われれます。</p>	<p>「共育パートナー」は、パイロット事業におけるプロジェクト・プログラム毎に関わる方々が異なるため、新美術館オープン前の企画準備段階から、事業毎にプロジェクトチームを立ち上げるような形を検討して参ります。</p>
6	<p>◆レジデンス事業について</p> <p>レジデンスは「はっち」内にあるが、機能しているのか？ACACのように、美術館の中に設置することなのか、2箇所の特性の違いは？</p>	<p>本計画では、美術館内で活動の全てを完結させるのではなく、中心街の各施設を美術館の拡張機能と見立てて、事業や運営など様々な面で連携を図ることとしております。レジデンス事業については、「はっち」のレジデンス施設の活用を想定しております。</p>
7	<p>◆空間の特徴について</p> <p>企画設計図を見ますと、たくさんのブースがありますが、多すぎるのではないかと思います。もっと整理して自由な用途で使えるようにした方がいいと思います。</p>	<p>計画書では、様々な使われ方がなされることを表現するため、多くの区切られた空間があるような図となっておりますが、新美術館の特徴的な大空間である「ジャイアントルーム」を活かして、フレキシブルな使い方ができるような運用を図ります。</p>

八戸市新美術館管理運営基本計画(案)に関するパブリックコメント実施状況

No.	意見内容（概要）	市の考え方
8	<p>◆作品収集について</p> <p>作品収集について要望があります。市の収蔵作品の中に戦後生まれの作家の作品がどれほどあるのでしょうか？私の思い違いでなければいいのですが、皆無に等しいではありませんか？すっぱり我々世代の作品が抜け落ちてはいませんか？我々の世代の作品は、計画書に書かれている収集方針に全く該当しないということなのでしょうか。画家はその世代世代なりに、その時代の世相や文化を反映しながら絵を描いているものだと考えています。そういった意味で、地元画家が描いた絵は、地元の世相を反映した財産だと思うのです。絵の出来栄はさておき、残すべき作品はあまたあるのではないのでしょうか？十分にご検討を期待します。私たちは戦後生まれの絵描きです。通称団塊の世代です。日本の戦後の復興に向けて一番頑張ってきた世代です。そして今の豊かな日本があると自負を持っています。その忙しい仕事をしながら一心に絵を描き続けてきたのです。作品の出来栄はそれぞれですが、貴重な作品を漏らすことが無いように再検討してください。</p>	<p>新美術館では、「地域の芸術や文化、まちの歩みに寄り添いながら未来を見据え、多様な価値観を創出し、人を育むための美術資料の収集を行う」という収集理念を設定し、</p> <p>①八戸市を中心とした近隣地域ゆかりのもの ②八戸地域における新たな魅力の創造や学びにつながるもの ③八戸の美術を美術史全体の中で位置づけられるもの</p> <p>のうち、いずれか1つ以上を満たした作品や関連資料で、美術品等収集委員会の検討を経て承認されたものの収集を目指すこととしております。</p> <p>ご提案いただきました戦後生まれの地元作家の作品の中にも、これらの収集方針を満たす作品があるものと考えておりますが、具体的な作品収集のあり方については、今後設置を予定している美術品等収集委員会で検討して参ります。</p>
9	<p>◆開館時間について</p> <p>開館時間ですが、20時まで。できれば21時まで延ばしていただきたい。</p>	<p>館全体の開館時間として10時～19時と設定しましたが、活動内容によって一部空間の開館時間外の開放や、全館の開館時間延長等も検討して参ります。</p>
10	<p>◆運営検討委員会について</p> <p>運営検討委員会の委員の選任はどのようにして決めるのか知りたい。可能であれば、市民の代表者の一人として、私どもの会からも委員を選んでもらいたい。</p>	<p>運営検討委員会は、美術館運営のあり方や実施事業に関して専門家としての立場から提言や助言をいただくことを目的として設置するもので、国内外の美術や当市の文化政策等に精通した美術関係者、教育関係者などの有識者で構成することを想定しております。</p> <p>一方で、美術館運営に幅広く市民の皆様からの御意見を反映できるよう、市民意見交換会やシンポジウムなど、どなたでも自由に参加し発言できる場を設けたいと考えております。</p>
11	<p>◆美術品等収集委員会について</p> <p>美術品等収集委員会はどのような方々を選任するのか知りたい。</p>	<p>美術品等収集委員会は、対象分野などのバランスを取りながら、美術作品や地域に関する専門知識を有する複数の識者で構成することを想定しております。具体的な人選については、今後検討して参ります。</p>
12	<p>◆管理運営について</p> <p>施設の中では、子どもやお年寄り、介助が必要な方々の文言が一文字も無いが？健常者のための美術館という印象なのですが。福祉美術館を売り物にはいかがか。</p>	<p>ご意見の内容がハード・ソフトのいずれについてのご指摘か不明ですが、ハード面については、バリアフリー新法の義務基準に沿うほか、ユニバーサルデザインも考慮した整備を行います。ソフト面については、管理運営基本計画において、新美術館は、世代や立場に関係なく、あらゆる方々に社会参加の機会を開くことを掲げております。子どもやお年寄り、介助が必要な方々など、全ての方に美術館に親しんでいただくことを通して、そのような機会の創出に努めて参ります。</p>
13	<p>◆組織体制について</p> <p>この計画を実行するには、正職員、臨時職員、パートタイマーなど相当な人員が必要と思います。特に館長には、可能な限り人事、予算の裁量を与え、強いリーダーシップのもと、思い切り事業を展開していただきたい。また、職員の事前研修が徹底され、新美術館丸がスムーズに船出するよう祈ります。</p>	<p>職員については、開館までに必要な人材を確保するとともに、研修やプレ事業を通して育成を図って参ります。</p> <p>また、館長の選任については、新美術館の整備を進める上での重要な要素の一つと認識しております。いただいた御意見は、今後の参考といたします。</p>

八戸市新美術館管理運営基本計画(案)に関するパブリックコメント実施状況

No.	意見内容（概要）	市の考え方
14	<p>◆組織体制について</p> <p>館長の選任と時期について、例えば十和田市現代美術館の館長、学芸員のように、作家との関わりが深く多彩であり、企画に結びつく人材であること。実績ある人物。（中央・海外への視野が広い）</p>	<p>館長の選任については、新美術館の整備を進める上での重要な要素の一つと認識しております。いただいた御意見は、今後の参考といたします。</p>
15	<p>◆組織体制について</p> <p>学芸員の数について、内容を充実させるにはどのくらいの規模で考えているのか。専門性は高くなると思う。</p>	<p>新美術館に必要なスタッフの人数や雇用形態などについては、今後さらに詳細な検討を行って参ります。</p>
16	<p>◆組織体制について</p> <p>一般市民は、美術館に望む事は、良い展覧会が見られること。都会でしか見れない巡回展等を見たいと思う人が多いと思います。それには、美術に精通したスタッフがいて、中央にパイプを持った館長が必要だと思います。博物館や公会堂の館長を選ぶのとは違うのです。初代館長は、それなりの実績がある人物が必要だと思います。それにより、その美術館の印象が良くなり、当然質の良い展覧会が開催されると思います。</p>	<p>館長の選任については、新美術館の整備を進める上での重要な要素の一つと認識しております。いただいた御意見は、今後の参考といたします。</p>
17	<p>◆組織体制について</p> <p>館長、副館長、プロデューサー、課長、各学芸員の具体的人選段階に入る際の選定（採用）・選考基準を知りたい。各々どういう人材が必要なのか明確化すべきと思う。基本計画案を理想通り遂行できるか否かは、人選に大きく左右されると思う。</p>	<p>新美術館は市直営での運営を想定していることから、スタッフについては現在任用している市職員を中心に、適切に配置して参ります。また、館長やディレクターの選任については、新美術館の整備を進める上での重要な要素の一つと認識しており、多岐にわたる事業を円滑に遂行できるよう、組織体制のあり方について引き続き検討を進めて参ります。</p>
18	<p>◆運営経費について</p> <p>管理運営費は、年ごとにころころと変わることはないように、あらかじめ予算額の〇〇%と決めておくことが大事だと思います。</p>	<p>今後、収支試算などさらに詳細な検討を進める上での参考といたします。</p>